



この春、長男は大学受験、長女は高校受験を経て、上のステージへ入学をすることができました。昨年度はダブル受験ということあり、年後半から我が家はピリピリムードで年末恒例の家族旅行も延期することになりました。追い込みの時期なので当たり前ですが笑

長女は受験を経験したことがなく、自分自身のやる気スイッチをどう入れていったいいのか手探り状態でしたが、年を越したくらいから徐々にやる気が起きてきたらしく、最終的には志望校の一枚に合格することが出来ました。自分の力で合格できたことの喜びを日々かみしめているみたいです。

長男は通っていた高校の指定校推薦で一般受験をせずに大学に行くことも出来たのですが、高校入学時にスポーツ推薦で入学したことが本人曰く、「在学中は一般受験で入学していなかったから他の同級生に後ろめたさがあって、大学は一般受験をして自分の力で合格を勝ち取りたい!」との思いであえて困難な道を選びました。受験勉強真っ只中の年明けくらいに「希望の大学は今年は難しいかもしれないから浪人していい?」という話もありました。私自身、高校も大学もスポーツ推薦で進んだため一度も受験勉強をしたことがなく、その挑戦する姿に対して、いつも感心してばかりでした。いくつか受験した大学があり2月下旬から次々と合格発表があったのですが、ことごとく不合格でした。そして3月中旬に受験した中での最後の合格発表で合格通知を受けることが出来ました。本人は合格する気満々だったのですが私はさすがに半分は諦めていました笑

合格した大学が県外だったので、合格発表翌日には住まいを探しに行き、申し込みまでしてきました。休む間もなく、一人暮らし用の生活用品を思い当たるものから買っていきました。私が思った費用より2倍以上かかってしまい、日頃、お客様に学費や生活費用についてアドバイスらしきことをしたりしていたのですが、いざ自分自身が経験してみると全く違いました苦笑

引越当日、息子は初めての一人暮らしでルンルン気分の中、私は寂しさ半分、責任を果たせた安堵感半分でした。娘は反抗期ではないんですが、面倒なことはあまりしたがないので引越の手伝いにはついてこないと思っていました。しかし、行きたい!と言ってきて、それには少し驚きました。約半日かけてある程度生活できる段階までにして私と娘は自宅に戻ることにしました。そして、見送っていた息子から私たちの車が遠ざかっていくときに娘は私に見えないように涙を拭いているようにみえました。あれだけ喧嘩ばかりしていてもいざ別れて暮らすとなると寂しくなったんでしょう!その姿をみて私も少し涙が!

